事業番号	11 03 10	事業改善シート(28年度実施事業分) □デ薫	要求	口当初予算》	客 □補正予算案 ■点検
事業名	市町村基幹道路整備費			部局	建設部
尹 未 石				課·局·室	道路管理課
総合5か年	プロジェクト		当課	E-mail	michikanri@pref.nagano.jp
総占5が4 計画	施策の総合的展開	5-2 快適で暮らしやすいまちづくり	HZIV		
ш		2 暮らしを支える道路網の整備		実施期間	S46 ∼
人口定着・	信州創生の基本方針	5-3 賑わいある快適な健康長寿のまち・むらづくり			
確かな暮ら し実現総		4-(1) 確かな暮らしを支える地域構造の構築			
	施策展開	(ア) 地域に必要なサービス・交流機能の確保			
合戦略					

1 事業の概要

1 事業の										
目指す姿	○過疎、豪雪地域の産業基盤と生活環境の向上のため、基幹的な市町村道の整備を県が代行し、県内地域間の格差是正を図る。 ・過疎・山村地域の産業基盤と生活環境の向上、豪雪地域の冬期交通の確保等を目的とした、基幹的な市町村道の整備を県が代行して行い、周辺市町村を含む広域的な地域振興に寄与し、県内地域間の格差是正を図る。 ・県が代行して整備を行う市町村の基幹道路9箇所について、平成33年度までに完成させる。									
現状 (予算編成 時)	・過疎・山村・豪雪地域では、生活基盤である市町村道の整備が遅れており、車のすれ違いが困難な区間や落石の危険がある箇所が多く 残されている。救急医療や地域間交流の促進のため、これら道路の整備が必要となっている。 ・整備延長は、平成27年度末で133.1km。									
県が関与 する理由	県でなければ実施不可(法令等義務) 県民との協働による実施:実施は困難									
	① 成果目標(H28) ○平成28年度末の整備延長L=133.8kmを目標に整備を行う。 (長野県過疎地域自立促進計画における計画路線の事業延長を年度別に換算し、過去からの整備延長と合算して目標整備延長を設定。)									
	② 事業内容 (単位:千円)									
	項目	実施方法	実施方法 H28事業実績		H28		H29			
	7,41	八旭万位	1120 事業入順		(当初)	(決算)	(当初)			
	市町村基幹道路整備	直接	道路の整備9箇所		548,012	595,962	473,355			
成果目標・										
事業内容										
				合計	548,012	595,962	473,355			

	区		分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度
	~	前年度繰越 当初予算		272,009	252,341	246,078
	予			611,100	548,012	473,355
事	算額		補正予算	-41,542	41,687	
業	识		合計(A)	841,567	842,040	719,433
*			一般財源	42,563	44,121	26,728
П	Aσ.		県 債	331,000	359,000	323,000
	財派	亰	国庫支出金	468,004	438,919	369,705
ス			その他	0	0	0
۱	決		T 額(B)	841,567	595,962	719,433
17	概算		職員数(人)	6.39	6.39	6.39
	人件費		概算人件費 (C)	_	-	-
	概算事業費(B(A)+C)			841,567	595,962	719,433

	月	は果目標の	達成状況			
項目	H26末	H27末		H29		
79.1			目標	成果	達成状況	目標
市町村基幹道路整備延長	132.3km	133. 1km	133.8km	133. 9Km	達成	134.4km

目標に対 する成果 の状況

成果目標を達成することにより、危険個所の解消による安全の確保や、狭窄区間の解消による円滑な交通に寄与することができた。

2 今後の事業の方向性

心	□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施
って、手未 をどのよう	
にしていき	□ 事業を実施しない □ 事業を見直して実施 ■ 事業を現行どおり実施 ■ 事業を現行どおり実施 引き続き事業を実施するものの、コスト縮減などを常に検討し、より効率的・効果的な整備の促進と、早期の事業効果発現に努める。
たいか	